

掲示板



社会福祉協議会より

災害時安否確認マニュアル作成について

伊賀市社会福祉協議会では、東海・東南海・南海地震及び風水害に備えて、災害時に大きな力を発揮できる地域住民による防災体制の仕組みづくりとして、要援護者避難支援を中心とした安否確認マニュアルを、公募委員、ボランティア団体、行政等の協力を得て策定いたしました。地域での防災活動・福祉活動にご活用頂けるよう関係者と協力して、災害弱者への支援対策を推進していきます。

※災害時安否確認マニュアルは伊賀市社会福祉協議会伊賀支所で配布致しております。

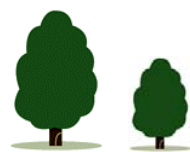
ヤマギシだより

子ども楽園村



「自然と農ある暮らしで村の生活体験」。
30年続いている子ども楽園村のテーマです。一週間、親と離れ、テレビゲームなしで、子ども(年中から小6まで)同士遊び暮らす環境をプレゼントしたいです。今年は7月23日から開催します。

お問い合わせは TEL45-5550まで。



人権まちづくりの推進を!

(推進テーマ「だれもがしあわせに 自分らしくかがやいて生きよう」)



平成18年度、壬生野まちづくりがスタートしました。まちづくり「ときめきプラン」の当委員会推進文では、「人権はすべての人に保障された最も重要な権利」とうたわれています。

平成16年度から伊賀市合併で、地域での「まちづくり」の活動が活発に展開され、色々な行事などが催されてきました。この「まちづくり」の取り組みは、役員さんや委員さんだけのものではなく、壬生野地域の皆さん方のお力添えが必要であります。

とりわけ、人権啓発のお話や研修などはどうしても敬遠されがちです。もう一度、視点を「自分のしあわせ」から「みんなのしあわせ」へと考えを変えて頂き、身近なことなどについての話し合いや研修会などを予定しています。

編集後記

平成18年度からまちづくり協議会に広報公聴実行委員会が設置され、今回が新体制で最初の広報発行となります。この委員会では協議会と地域の皆様を繋げる架け橋として毎月1回コミュニティ壬生野の発行に加え、HPの更新・公聴会を通して情報発信、情報交流を行いたいと考えています。

今号は、18年度総会で承認されました事業計画と専門委員会の様子を掲載します。今後とも、まちづくり協議会へのご理解とご協力を宜しく願います。

■ ご意見・お問い合わせはまちづくり協議会事務局まで

壬生野地域まちづくり協議会事務局 伊賀市川東1659-5 壬生の里2階
電話・FAX 0595-45-6270
E-mail tokimeki@ict.ne.jp ホームページURL <http://www.mibuno.net>



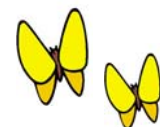
コミュニティ壬生野 第15号



壬生野地域まちづくり協議会広報

平成18年6月15日発行

平成18年度



INFORMATION

ノハナショウブ観察会を行います



平成17年度ノハナショウブ観察会より

6月17日(土)、壬生野小学校の児童と保護者のみなさんを中心に、まちづくり協議会主催のノハナショウブの観察会を実施します。

昨年も実施しましたこのノハナショウブの観察会は、西之澤に自生している県天然記念物指定のノハナショウブの保護を

目的に、随所に散らばる株を数えたり、その様子をスケッチしたりして、その実態を地域として把握していこうという取り組みです。壬生野に咲くノハナショウブを今後も残していくために、まちづくり協議会では具体的な方策の検討を含め、その保存に取り組んでいきたいと考えています。

尚、ノハナショウブの見頃は毎年6月の10日から20日頃で、今年はやや遅咲きになっています。みなさんも是非、毎年この時期には、昔ながらの姿を残すノハナショウブを見に行かれてはいかがでしょうか。



平成18年度まちづくり専門委員会の紹介

(写真は第1回専門委員会の模様)

委員会名	氏名		
人権同和委員会 委員長 増森和吉 副委員長 矢内茂 書記 渡部税子	今中 義二	古本 貴彦	矢内 茂
	米野 滋基	森川 久雄	増森 和吉
	界外 吉弘	平地 章昌	居附 睦美
	渡部 税子	渡部 武義	
健康福祉委員会 委員長 佐藤常夫 副委員長 塚脇勝行 書記 中林豊	柴原 長生	澤 哲 司	塚脇 勝行
	田之畑幸男	北大路順信	中 林 豊
	福島裕美子	佐藤 常夫	居附 健至
	落合ちず子	大内 良彦	平野 義雄
生活環境委員会 委員長 山下謙一郎 副委員長 草山靖雄 書記 新村由美子	東 キミ子	吉葉 公志	三根 秀徳
	山下謙一郎	三根 幸治	福 森 晋
	草山 靖雄	山舗 政夫	北村 節子
	谷口 和行	中林 弘美	上 野 寛
教育文化委員会 委員長 山下 豊 副委員長 中林 正彦 書記 宮田美智子	居附 六朗	金谷 宗清	松生 一夫
	菱谷 富男	小崎 節吉	細 野 仁
	新村由美子	川口 和司	
	中林 正彦	藤森 光儀	山 下 豊
産業交流委員会 委員長 五百田道夫 副委員長 塩田 求 書記 塚本 正子	五百田昭徳	界外 直樹	平岩 幸子
	増田 裕充	塚脇 博文	池町 安雅
	宮田美智子	松下 充明	堀之内和幸
	奥井 正明	福田 律子	西 良 太
産業交流委員会 委員長 五百田道夫 副委員長 塩田 求 書記 塚本 正子	中森 啓太		
	五百田道夫	藤田 眞	岡森 敬美
	塩田 求	塚本 正子	谷 口 剛
	界 外 巖	三根久美子	高橋 康之
	中森 晴彦	玉置 嘉孝	北森利恵子
	出口 保代	居附 正勝	



平成18年度壬生野地域まちづくり協議会事業計画

	事業名
4月	15日 コミュニティ壬生野13号発行
	24日 定期総会
5月	15日 コミュニティ壬生野14号発行
	22日 まちづくり全体委員会
6月	15日 コミュニティ壬生野15号発行
	17日 ノハナショウブ観察会
7月	15日 コミュニティ壬生野16号発行
	中旬 交通安全教室の実施 下旬 まちづくり講演会・公聴会
8月	1日 コミュニティ壬生野17号発行
	上旬 滝川まつりの開催
9月	1日 コミュニティ壬生野18号発行
	下旬 地域農政研修会の開催
10月	1日 コミュニティ壬生野19号発行
	中旬 壬生野まつり開催
11月	1日 コミュニティ壬生野20号発行
	下旬 国際交流スポーツ事業の実施
12月	1日 コミュニティ壬生野21号発行
	下旬 環境美化活動
1月	1日 コミュニティ壬生野22号発行
	下旬 人権講演会の開催
2月	1日 コミュニティ壬生野23号発行
	下旬 19年度事業の提案
3月	1日 コミュニティ壬生野24号発行

年間をとおして実施する事業 (^_^)/~

【窓口運営実行委員会】 ときめきサロンの開設

毎週土曜日の午前中に、『地域の憩いの場』の提供と『まちづくり情報』の発信基地の設置を目的として協議会事務所を開放します。まちづくり協議会役員と一般公募による実行委員、市職員にて構成する地域スタッフが窓口当番を担当し、図書コーナー、喫茶コーナーをご利用いただけます。



【地域防犯実行委員会】 地域防犯パトロールの実施



伊賀市自主防犯パトロール委員に委嘱された二十数名の委員を中心に壬生野地域の安全確保に努めます。また、既に地域で活動している各種団体(PTA、老人会、更正保護女性の会、消防団、自主防災組織等)との連携を強化し、行政組織も交えた総合的なシステムを構築します。主な活動は交通安全誘導・啓発、下校時の安全誘導、地域防犯パトロールなどです。

【各専門委員会】

人権同和、健康福祉、生活環境、教育文化、産業交流の5委員会を設けて常に地域のニーズを把握し、『まちづくり計画』に基づいた事業の調査・研究を行います。事業の実施にあたっては、専門委員会完結で開催するものと実行委員会に委ねるものに区分された年間事業計画書に基づき実施します。
(自主防災体制の確立、地域農業振興対策、河川公園の整備、健康づくり事業)

【各実行委員会】

広報公聴、窓口運営、地域防犯、人権研修、地域イベントの5実行委員会を設け、年間事業計画に基づき実行委員会に委ねられた事業について〔企画⇒準備・周知⇒実行〕を担当します。実行委員は、まちづくり委員のほか一般公募による実行委員となります。事業の内容により各種団体(自治会・子供育成会・老人会等)との連携を図った活動も積極的に展開します。

※ 計画については今後調整等により変更する場合があります。



人権同和委員会



健康福祉委員会



生活環境委員会



教育文化委員会



産業交流委員会